

北朝鮮の弾道ミサイル発射等に伴う Jアラート（全国瞬時警報システム）による情報伝達があった場合の対応について

2017. 9. 15

◎ Jアラートによる緊急速報メールを受信した場合には、政府からの発表の指示に従い行動すること。

「頑丈な建物や地下に避難」の指示があった場合

- 自宅・屋内にいる場合
その後の Jアラートによる緊急速報メールやニュース等で安全な状況が確認できるまでは自宅・屋内で待機すること。
- 屋外にいる場合
頑丈な建物や地下に避難し、その後の Jアラートによる緊急メール速報やニュース等で安全な状況が確認できるまでその場に待機すること。
- 学校にいる場合
Jアラートによる緊急速報メールを受信した場合には、緊急放送を入れるのでその指示(下記例)に従うこと。

◎ ミサイル発射等の影響により公共交通機関の遅延や運休が生じ、休校にしたり始業時刻を遅らせるなどの必要がある場合には、緊急一斉メールや栃女ホームページで連絡をします。なお、公共の交通機関の遅延や運休、建物や地下への避難等により始業時刻に遅刻になる場合は認欠扱いとし、授業も欠課としません。

◎ ミサイルが着弾した場合に取るべき行動の例は以下の通り。
・ 近くにミサイルが着弾した場合は、屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れて密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
・ 弾頭の種類に応じて被害の様相や対応が大きく異なるため、テレビ・ラジオ・インターネット等を通して情報収集に努めるとともに、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動する。

◎ 自動車の車内にいる場合の行動例
・ 車は燃料のガソリンなどに引火する恐れがあるため、車を止めて頑丈な建物や地下街などに避難する。周囲に避難できる頑丈な建物や地下街などが無い場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守る。

放送例

校内放送『ただいま北朝鮮がミサイルを発射したという緊急速報メールを受信しました。「頑丈な建物への避難」という指示がありました。校舎外での活動は停止し、ただちに自分の教室に待避してください。』

校内放送『教室に待避したら、カーテンを閉め、窓から離れ、自分の身の安全を確保し、安全か確認されるまで教室で待機してください。』

※緊急速報メールやニュース等で安全が確認されたら

校内放送『ミサイルは〇〇の上空を通過し、太平洋上に落下したとのことです。安全な状況が確認されましたので、授業を再開してください。』